

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価の調査項目です)

取り組んでいきたい項目

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「元気に過ごす住まい」という理念を掲げ、その人らしい生活を送っていただけるように心掛けている。街の中心に位置しており、近くに公園やスーパーもあるため散歩や買い物に適している。このような環境のなかで様々な活動や体験をしていただきたいという思いが込められている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	街の中心に位置しており、散歩や買い物にも適しているので活動的に過ごして頂きたい、その方の生活習慣や意志を尊重しながら理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。個人個人の名札に理念を入れたり、会議等での確認を行っている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご入居時にホームの方針・理念について説明を行っている。ホーム内に色紙を掲げたり、グループホーム新聞に理念を載せている。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物などの外出の際には近隣の方たちとの挨拶を交わしている。地域の方が訪ねて来て下さったりお花などを持ってきて下さることがある。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に入らせていただいております、回覧板やゴミ当番にも参加している。地域の老人会や公民館での催しなどに声をかけて頂き、交流をもたせて頂いている。ホームの行事の際にも地域の方に参加していただけるようお声をかけさせて頂いている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	特に行っていない。		地域の活動などに積極的に関わっていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表は全職員で取り組んだが、皆で話し合いをもつ時間をもてなかった。 昨年の評価を振り返り、改善に取り組んだ部分もあるが計画的ではなく十分ではなかった。		全職員でひとつひとつ検討していく機会を設けたい。 評価結果についても全職員で振り返る機会を設けていく。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの状況報告は必ず行っており、参加して頂いた方の意見などを参考にサービスの向上に努めている。 要望や質問に関しても次の会議で報告できるように努めている。 市議員など客観的な立場の方々にも参加していただき現状を報告させていただいている。		積極的にご家族の方に参加を呼びかけていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム新聞を持参したりして活動報告を行うほか、ホーム内の課題問題などの相談は随時行っている。		ホームの行事などにも参加していただけるように声をかけていきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加したり、また会議の際に報告を行い全職員が理解を深めている。 ホームにパンフレットを設置し、状況に応じてご家族への説明を行っている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の際に勉強会を行い理解を深めている。 朝夕の申し送りの際に情報交換を行い、利用者からもお話を聞いたりして虐待の防止に努めている。		研修会などに参加し理解を深めていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明書や契約書の十分な説明を行い、疑問点に関してもその都度説明を行っている。安心してご入居頂けるよう変更がある場合などには文書にして理解を得ている。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の不満や苦情に関しては、会議や申し送り等で話し合い改善に努めている。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族の面会時には近況報告を行うように心掛けている。心身の状態に変化がある場合にはその都度連絡を取っている。グループホーム新聞で活動報告を行っている。職員の異動・入職・退職に関しては運営推進会議の際などで報告を行っている。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご入居時にホーム内の苦情窓口相談と公的機関があることをお伝えしている。1Fに意見箱を設置し、また苦情窓口・第三者の相談窓口の連絡先を掲示している。会議や家族会などでもアンケートを使用したり意見が出せる機会を設けているが定期的には行っていない。		定期的に意見や要望に関するアンケートを行っていきたい。
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や申し送りの際に職員の意見や提案が聞けるように心掛けている。代表による個人面談なども行っている。		意見や提案が出しやすいような雰囲気作りに努めていきたい。
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況に応じて人員の確保に努め、柔軟な対応ができるように努めている。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	人員の配置には十分配慮し、利用者への影響がないように全職員が対応できるように努めている。離職が相次いだ時期もあったが現在は安定している。離職を防ぐため状況に応じて職員の個別面接を実施するようにした。		利用者の方へのダメージがないよう、十分な説明を心掛けていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用の際に年齢や性別を理由に対象から外すということはなく、その方の介護に対する思いや関心を重視している。 資格取得に向けての支援を行っている。		
20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権に関する勉強会への参加はできていない。		人権教育に関する勉強会に参加していきたい。
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外での研修に参加し、会議で報告していただきスタッフ間で共有している。 月2～3回程度の毎朝の勉強会を実施している。		職員の要望に応じた研修会や勉強会を取り入れていきたい。
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム部会に参加させて頂き、それぞれの活動など意見交換させていただいている。		行事等に参加していただけるように声をかけていきたい。 訪問させていただく機会を作り、情報交換を積極的に行っていきたい。
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩室をつくったが、休憩時間の確保が確実にはできていない。 定期的な親睦会を実施している。 ストレスケアに関する勉強会に参加している。 職員との関係作りに努め、面談も行っている。		働きやすい環境作りのために福利厚生の充実を図りたい。 お互いに話や相談がしやすい環境作り アンケートや面談などで管理者や職員の思いを汲み取り、ストレス軽減を図っていきたい。
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	状況を把握するために最低週1回は現場を訪れている。 提案や要望は前向きに検討し、向上心につながるように努めている。 資格取得への助成に関しては具体的な規定がまだない。		資格取得に関して積極的に支援していきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご本人と会ってお話する機会を設けている。 心配なことや不安なことがあれば十分にお話を伺い、できることは柔軟に対応するようにしている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族とも入居前にゆっくりとお話を聴く機会を設け、希望や心配事などを理解するよう努めている。不安のないよう改善に努めている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に応じて他のサービス提案をさせていただいている。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族にホームを見に来ていただいたり、日帰りや宿泊の体験入居を提案させていただいている。 徐々になじんでいただけるよう柔軟に対応を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔のお話をお聞きする中で、お料理の方法や歌などいろいろなことを教わっている。 コミュニケーションをとり、喜怒哀楽を共にすることで信頼関係を築けるように心掛けている。		
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られた時などにはご家族には日々の状況をお伝えしたりと会話を多くもつようにし、協力しながら支えていく関係を築くよう心掛けている。 状況に応じて電話でも状態報告をさせていただいている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会や行事にはご家族の参加を呼びかけている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの知人の方など関係が途切れないよう、来て頂きやすい雰囲気作りに努めているが、こちらから積極的に出て行く働きかけは行っていない。		馴染みの地域の方との関係を保っていけるように、支援していきたい。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の人間関係を把握し、トラブル等がないよう配慮している。スタッフが介入し問題の早期発見に努めている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現在行っていない。		必要である場合は関係を断ち切らないような関係作りに努めていきたい。
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人お一人がどのような暮らしを望んでいるのか、日々の会話の中からご本人の思いを理解するように努めている。入居時にはご家族や関係者からも話を伺い、思いを把握するよう努めている。		常にご本人やご家族から希望や意向を把握できるように努める必要がある。また何か情報を得た場合には記録として残しておくようにし、職員間で共有していく。
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にはセンター方式の用紙を用いてこれまでの生活歴や習慣などをご家族やご本人にもお伺いしている。		入居時だけでなく日ごろの会話からも情報を得、それを全職員が共有していけるように努めていきたい。そのことで信頼関係を築いて
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	これまでの生活習慣を理解し、お一人お一人の過ごし方を尊重している。自己決定できるようなコミュニケーションに努めている。日々の申し送りで状態の把握を行っている。		利用者の心身状態や有する力等の把握が統一できるように定期的なケアカンファを積極的に行っていききたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見や要望を伺い、計画に反映できるように努めている。 分かりやすい言葉で記入するように努めている。 要望はサービス内容の中に組み込むように心掛けている。		全職員が介護計画を把握し、十分なケアが提供できるように努めたい。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化に応じて計画の見直しを行っている。		状況の変化がある場合にはその都度ケアカンファを行い、統一したケアが提供できるように努めていきたい。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践は個人ファイルに記録している。		介護計画に沿った記録や気づき・工夫に関する記録を充実し、ケアの質の向上に努めたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に応じ、急な外泊や外出・通院などにも柔軟に対応している。 24時間医師・看護師と連絡が取れるようにオンコール体制をとっている。 併設の医院と連携をとり状態の変化などには速やかに対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議の際には民生委員の方にも来て頂き協力していただいている。また消防署の方にも避難訓練や心肺蘇生法のお話をしていただいている。 地域のボランティアの方に来ていただいたり、幼稚園との交流も行っている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	希望に応じて理美容サービスを利用している。 状態に応じてリハビリのサービスを利用されたり柔軟に対応している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ホームの活動報告や入居者の方の状況報告は定期的に行っている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族やご本人の意向を尊重し、以前からのかかりつけ医で医療が受けられるように配慮している。 併設している医院があり、安心して医療が受けられるように支援している。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に関する相談や治療は併設している医院の医師に随時行っている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置しており、日常の健康管理を行っている。		
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には病院関係者との情報交換を心掛け、定期的に訪問を行っている。ご家族とも連絡を取り合いながら退院に向けて協力を行っている。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の急変時における対応に関してはご家族に説明を行い、書面での確認を行っているが、重度化対応・終末期ケアに関しては指針をまとめた段階である。		重度化対応・終末期ケアの対応指針をご家族に説明し同意を得ていく。
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今後支援を行っていくために、指針をまとめた段階である。		終末期における対応について、ホームで可能なことをご家族に説明し同意を得、チームで支援できるように努めていきたい。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えは今のところないが、他病院へ入院時には定期的な訪問を行い、関わりを保てるように心掛けている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者を尊重した言葉かけや対応に心がけ、記録の書き方にも配慮している。個人情報を書かれた書類等はシュレッダーにかけるようにしている。		
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者の方の状態に応じて、自己決定ができるような声かけの方法を心掛けている。利用者の方のご希望にはすぐに対応できるように配慮している。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースに合わせて生活していただくように配慮している。ご本人の希望に合わせて支援できるように心掛けている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご本人の望む美容室へ出かけたり、理美容サービスに来ていただいたり状況に応じて対応している。 洋服の買い物へ出かけたり、おしゃれが楽しめるように心掛けている		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りや、配膳下膳など利用者の方と共に行っているが、特定の方になりがちである。職員も共に同じテーブルで食事をとるようにしている。時には旬のものなどを取り入れ、季節感を味わっている。 ホーム内で育てた野菜を献立に利用している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者の嗜好品について把握し、柔軟に対応している。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を記入し、個人個人の排泄パターンを把握している。なるべくトイレで排泄していただけるように状態に応じて支援している。オムツやパットを使用している場合でも清潔に心掛け、状態に応じてトイレ誘導を行っている。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な曜日・時間帯は決まっているが、ご本人の希望に応じて臨機応変に対応している。習慣に応じて入浴を楽しめるように、配慮している。温泉を行事の中に取り入れて楽しんでいただいた。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活のリズムを整えるよう配慮している。状況に応じてお昼寝をされたり、休息していただいたりしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者のかたの趣味や特技を把握し、楽しみとなるような活動を心掛けている。お裁縫や編み物・塗り絵・散歩・料理などその方に応じた支援を行っている。行事ごとや外出などを利用者の方とともに計画をたてるまでには至っていない。		利用者の方と共に楽しみごとを探し出せるような支援をしていきたい。 ホームの畑を作ることを検討しており、利用者の方と野菜を育てていきたいと考えている。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	状況に応じてご自分でお金を管理されており、買い物の際などには自由に使えるよう支援している。 お金のことでトラブルが起きないようにご家族ともお話をしながら対応している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の希望に応じて外出できるように対応している。 自己決定の難しい利用者の方もここから声をかけさせていただき外出できるように心掛けている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠方への外出は前もって計画をたてて支援している。		家族と共に外出できる機会を設けていきたい。
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	リビングに電話をおいており、電話をかけたいという希望がある場合には使用していただいている。 手紙のやり取りも状況に応じて支援を行い、届いた手紙などもご本人へお渡ししている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪時にはお茶をお出ししたり、お声をかけさせていただき次回も来やすいような雰囲気作りを心掛けている。 面会時間の設定はあるものの、柔軟に対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束となる具体的な行為については、常に職員が見れる場所においている。 意識して取り組んでいるが研修等には参加できていない。		身体拘束についての意識を高めていきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	目の前が大通りという立地条件であり安全面を第一に考慮し、1階の入り口は施錠をしている。日中エレベーターは動かしている。 ユニットそれぞれには施錠はしておらず、自由に行き来ができるようにしており、外へ行く際にもスタッフと共に外出できるように配慮している。		鍵の件に関しては随時話し合いを行ってきたが、利用者の方に不安やストレスを感じさせないよう今後も職員間での話し合い・情報交換を行っていきたい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜ともに職員はリビングで過ごしており、利用者のかたの所在や様子を把握している。 リビングの中央に柱があり、死角もあるため状況に応じてセンサーを使用している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	必要なものは身近に置いており、状況に応じて居室内でも必要なものは置いていただいている。薬などは別に保管をしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットや事故報告書を活用し、全職員で情報を共有している。 会議の際等に話し合いを行い、再発防止に努めている。		リスクマネジメントに関する勉強会や研修に参加していき、全職員の危機管理への意識を高めていきたい。
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会や消防署の方に来ていただいたりして、急変時の対応や心肺蘇生法などの訓練を行っている。		今後も定期的に応急手当等の勉強会を実施していきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、避難時の対応について確認しているが地域の方との連携は不十分である。		地域の方に協力が得られるように理解を求めていきたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	状態に応じてその都度ご家族にお話をさせていただいている。 ご家族やご本人が望まれる暮らしを尊重しながら対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを行い、お一人お一人の状態を把握している。体調の変化やいつもと違うと感じる場合はよく観察を行い、速やかに医師に報告を行っている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の方が飲まれているお薬は全職員が把握できるよう、薬剤情報提供書には必ず目を通すようにしている。受診ノートを作成し、処方の変更など皆で情報を共有できるようにしている。服薬の際にも誤薬がないようにスタッフ間で確認を行っている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックのノートをつけており、水分摂取量の把握を行っている。牛乳を飲んでいただいたり、運動を働きかけたり、それぞれの方に応じた対応を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に歯磨きを行っている。お一人お一人の状況に合わせて支援を行っている。状態に応じて連携機関の歯科受診を行っている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人記録に食事量や飲水量の記録を行っている。状態に応じて食事や水分の工夫を行っている。食事は宅配のサービスを利用しており、献立は管理栄養士が作成したもので福祉食である。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対するマニュアルを作成しており、全職員で把握できるように努めている。外出から帰ったら必ず手洗いをし、手洗いの方法も写真をはっている。		感染症に関する勉強会を行ってきたい。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	包丁・まな板の消毒を毎日行っている。期限のきた食材などがないように冷蔵庫の管理もその都度行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1階の玄関には観葉植物や季節に応じた小物などを配置し、親しみやすい雰囲気作りを心がけている。ホーム便りや案内を掲示したり、地域の催しものなどの案内も貼らせて頂いている。		駐車場の入り口が暗いので今後わかりやすいように工夫してきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中はカーテンを開け、風通しよく自然の光が入るように心掛けている。リビングは季節を感じる花や、飾りつけに心掛けている。毎日掃除を行い、清潔に気持ちよく過ごせるように心掛けている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子、テーブルを配置し、テレビを見たり新聞を読んだり話をしたり運動をしたりと思いいいに過ごせるような空間をつくっている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が使い慣れたものを持ち込まれており、使いやすいように配置されている。入居時にもご家族に使い慣れたものや好みのものを持って頂けるようにお話をさせていただいている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝掃除の際には必ず換気を行っている。日中も換気に心掛け、温度計を置き室温の管理を行っている。状態に応じて、衣類の調整や冷暖房の管理を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室やリビングなど手すりを付け足したり、リビングの段差はなく安全に移動ができるようになっている。トイレも引き戸になっており、ご自分で開けやすいようにしている。 3Fは状態に応じて窓に柵を設置している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	お部屋の入り口には表札を掲げたり、トイレの場所や浴室の場所がわかり易い様に工夫している。 掃除や洗濯なども状態に応じてしていただいている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りには野菜やお花を植えており、利用者の方が楽しめるように工夫している。		利用者の方がくつろげるようなスペースを作りたい。

番号	項目	取り組みの成果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
. サービスの成果に関する項目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

番号	項 目	取り組みの成果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	数日に1回程度
		<input type="checkbox"/>	たまに
		<input type="checkbox"/>	ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない